

HEART REPORT

第57期 報告書

平成25年2月1日～平成26年1月31日

(証券コード:7956)

CONTENTS

トップインタビュー 1

事業一覧 3

ビジョンの私 5

私とビジョン 6

当期の経営成果 7

主な経営指標 8

トピックス、株主アンケート、会社概要 9

株式の状況など 10



ペットにできる小さな小さな太陽だよ。このミニ太陽があれば、夜になっても明るくあったかいから、お友達とずーっと遊べるよ。

公益社団法人発明協会 第35回未来の科学の夢 絵画展
幼稚園・保育園の部 奨励賞

『ミニミニ太陽』

育子会子供の城保育園(山形県)

中村 由奈ちゃん



TOP ● Interview



株主の皆様の価値を継続して向上させるため
安定的に事業を伸ばしてまいります

Q はじめに、第57期決算の
総括・評価を聞かせてください。

A 当期決算は、売上高は774億65百万円
(前期比19.0%増)、経常利益は110億2百
万円(同48.9%増)、当期純利益は69億85百万円
(同52.7%増)と、大変好調な業績となりました。

中でも、海外事業が成長ドライバーである中国
を中心に引き続き全体を牽引し、当期は売上全体
に占める海外比率が49.7%となるなど、国内事業
と同じ規模にまで成長を果たしました。為替の影響
もプラスに作用しましたが、現地通貨ベースでも
中国や米国などの主要な市場では伸びを続けてい
ます。特に1万5,000店舗に上る販売ルートを確認
している中国では、ピジョンブランドの浸透もあっ
て、哺乳びん・乳首といった既存品の販売に加え
て母乳パッドや新規に販売を開始した紙おむつな
どの消耗品も売上に貢献しました。その結果、上海・
常州にある2つの生産工場では、高い稼働率を維

持しており、そのことが生産サイドでも利益を生み
出し、業績にも寄与しています。

一方で、国内ベビー・ママ事業やヘルスケア・介
護事業では売上が伸び悩みました。国内ベビー・マ
マ事業においては、ベビーカーやチャイルドシート
などの大型商品を、新しい柱となる商品に成長させ
るべく、経営資源を投入して現在でこ入れを図って
います。また、妊産婦向けインナーウェアなどの販
売を行っていた100%出資の連結子会社であるピ
ジョンウィル株式会社を本年2月1日付けでピジ
ョンに吸収合併し、事業運営のさらなる効率化を
図っています。ヘルスケア・介護事業では、「ハピ
ナース」「リクープ」といった健康・介護用品につ
いて、ピジョンタヒラに集約化すべく営業の統合を図
りました。ヘルスケア・介護事業では、今後は2年ほ
どかけて開発を進めてきた新商品を上市する予定
であり、期待をしています。またドラッグストアだけ
でなく介護施設を軸に積極的に営業を行うことで、
トップラインの成長につなげていきたいと思いを

愛を生むは愛のみ。

経営理念「愛」

「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、世界中の赤ちゃんご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすことが私たちの使命(Mission)です。

代表取締役社長

山下 茂

Q 好調な業績となった第57期ですが、山下社長就任後の最初の1年としてどのように振り返りますか。

A ピジョンは前社長の時代から「グローバル」をキーワードに経営の舵を切ってきました。「グローバル」とは「地球全体の」という意味ですから、単に海外市場に打って出るだけではなく、グローバル経営の一極を担う日本も、非常に重要な市場であることに変わりはありません。当期、海外ではインドで新工場の建設に着手しましたが、中国やインドなどの海外市場で成功するためには、日本での成功がカギとなります。成熟した国内市場ではきめ細やかなモデル・工夫が求められ、この難しい市場で売上を伸ばし続けていくことが、グローバルでの成長には欠かせない要件だと認識しています。社長就任後の1年目は、この国内市場をどのように伸ばしていくかということに布石を打ち、基盤固めを行いました。私がトップに立って指示したことの「成果」は、現時点ではまだ、強く上に突き抜けるような形では見えていませんが、手ごたえは感じておりますので、第5次中期経営計画の中でさらに強化していきたいと思えます。

Q その第5次中期経営計画について、ポイントを教えてください。

A 第5次中期経営計画では、世界的な水準で見てもエクセレント(優良)と認められうる

企業になるべく、経営品質を高めてまいります。中計最終年度である第60期の数値目標に、売上は当期比29.1%増の1,000億円、営業利益は同44.7%増の150億円、当期純利益は同28.8%増の90億円を掲げていますが、目標達成に向けてキーとなるのがスピードだと思っています。今は、大が小を食うのではなく、速いものが遅いものを食う時代です。そこで、組織体制もスピーディな意思決定を進めていけるよう、全社的に変革していきます。具体的には、日本・中国・欧米・アジアの各地域で分けた戦略事業体への権限委譲を進め、現場に近いところで迅速に意思決定が行えるようにします。その一方で、経営企画・経理財務・人事総務などはコーポレートセンター機能としてグローバルで全社戦略の推進とモニタリングを行います。また開発・品質管理・ロジスティクスといった機能はそれぞれ全体最適の観点で地域拠点のグリップを握ります。第5次中期経営計画で掲げたスローガン“Pursuing world class business excellence, think globally, plan agilely, and implement locally.”には、その思いを強く込めました。これは“世界に通じるビジネス・エクセレンス(経営品質)を追求するために、地球を俯瞰して戦略を考え、速やかに行動計画を作成し、現地・現場で実行する”という意味です。

Q 株主の皆様メッセージをお願いします。

A 株主の皆様への期末配当金は、1株当たり55円とさせていただきます。昨年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いましたので、前期末の1株当たり配当金の71円は株式分割後に換算すると35.5円となるため、前期末比較では増配となっております。

株主の皆様価値を継続して向上させていくためには、どれだけ安定的に事業を伸ばしていけるかが重要な要素になると思っています。株主の皆様に対しては、今後もIR活動のさらなる充実を図ってまいりたいと思っておりますので、引き続き、長期にわたって当社へご支援賜りますよう、お願い申し上げます。



事業一覽

国内ベビー・ママ事業

取扱商品・サービス

- 哺乳関連用品 ● 離乳関連用品
- スキンケア用品 ● 女性ケア用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- IT事業 ● 大型商品事業



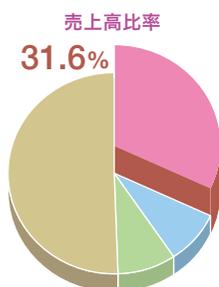
事業環境

2012年の出生数は約103万人で、2011年の約105万人から減少しました。一方、2013年は緩やかな景気回復傾向となりましたが、先行き不安感を払拭し切れず、対象顧客層による買い控えや低価格志向の傾向も強まっています。小売店の寡占化、卸売流通業界の再編等、当社を取り巻く環境は大きな変化が続いています。

強み・今後の展開

半世紀にわたる哺乳研究や、乳幼児発達研究から生まれる絶え間ない商品開発と改良により、「安全・安心・高品質」という極めて強いリーディング・ブランドとしての認知が浸透しています。

今後は大型商品事業の確立と拡大、女性ケアカテゴリの育成による商品カテゴリの拡充により、既存分野における収益性の向上を図ります。また、マタニティ・イベントなどダイレクト・コミュニケーションをさらに強化していきます。



子育て支援事業

サービス

- 保育サービス ● 事業所内保育運営委託
- 託児 ● ベビーシッターサービス
- 幼児教育サービス



事業環境

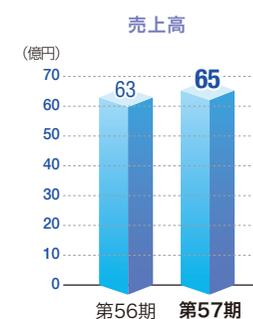
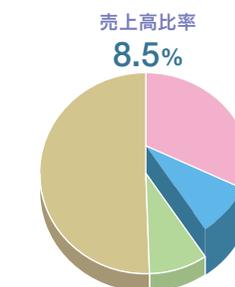
子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、具体的には保育園の開設、多様な保育サービスの充実を図るなど、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

強み・今後の展開

育児用品で培った安心・安全のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って推進しています。国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後は、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図り、着実な事業展開を継続していきます。

子育て支援
認可・認証保育園の運営受託
ベビーシッターの養成・派遣サービス
事業所内保育施設の運営受託
コンサルティングサービス・研修
幼児教育サービス「キッズワールド」
託児施設の運営受託



私たちのすべての事業は 経営理念「愛」から生まれ、育っています。

ヘルスケア・介護事業

取扱商品・サービス

- 介護用品 ●老化予防用品
- 介護支援サービス



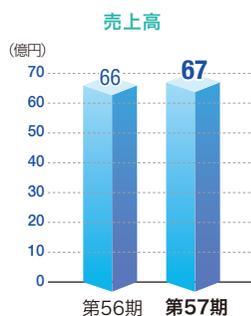
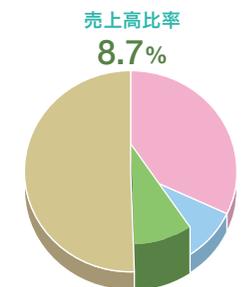
事業環境

総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2013年には高齢化率が25.1%で4人に1人となり、2035年には33.4%で3人に1人となるといわれています。競合各社の商品や営業活動も活発で新規参入事業者数も増加しています。

強み・今後の展開

品質に厳しい育児商品で培った実績、信用、ブランドをこの分野でも活かした展開を図っています。お客様の“お困りごと”に応える商品企画力、品質管理レベルの高さが当社の強みです。また、情報提供イベントやコミュニケーション活動にも実績とノウハウを持っています。

今後は、重点商品カテゴリを深耕することにより、商品競争力の向上を図り、施設ルートを中心とした営業活動を展開します。



海外事業

取扱商品

ベビー、ママ関連用品

展開エリア

アジア：中国・韓国・シンガポール・インド 他
北米：アメリカ・カナダ 他
中近東：アラブ首長国連邦 他
その他：南アフリカ・イギリス・パナマ・ドイツ 他

事業環境

中国の年間出生数は1,500万～1,700万人と、日本の14～16倍といわれ、一方、米国の合計特殊出生率はおよそ2.1で、経済先進国の中でも比較的安定した水準にあります。東南アジア、インド、ロシア、中南米など成長が期待できる新興国への展開を、グループ企業の特長を活かしながら進めています。

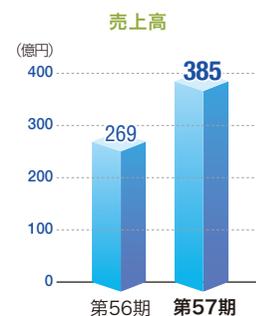
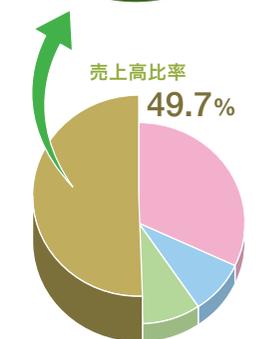
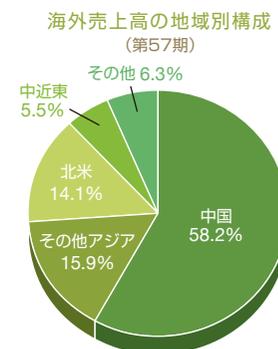
強み・今後の展開

商品競争力の向上を図るとともに、重点市場の開拓・深耕および重点商品カテゴリへの注力に対応すべく積極的な事業投資を行い、生産体制の拡充と事業運営体制の強化を図っていきます。中国では、これまでの商品に加え、紙おむつ、ベビーフードの投入など商品群の拡充、病院などへの普及活動のさらなる強化を進めるとともに、生産コストの管理と安定供給体制についても的確にマネジメントを行っていきます。

欧米では、拡大が軌道に乗ってきたランシノ社による販売強化、また、インド、ロシア、ブラジルなど新興国での展開もさらに積極化させます。



インドのビジョンコーナー





本部長の
岩本です。



ピジョンの 私

各事業本部のご紹介と、
そのリーダーから皆様へのメッセージです。

品質管理本部

品質管理本部では、開発段階にある商品の試験評価から、量産移行後の工程管理、さらには商品ご購入後の品質保証に至るまで、ピジョン商品の品質に関わるすべてを一元的に管理しています。

ピジョンの商品は、自社内製造のほかに、外部に製造を委託している部分もあります。私たちは、自社生産関連子会社や国内外の協力メーカーとも綿密に協議しながら、全製造工程で原料一つひとつに至るまで、しっかりと品質をチェックすることで、安心・安全な商品の提供に努めています。私たちのお客様は言葉を話せない赤ちゃんですから、万が一、製造過程で見逃してはならないものが

出てくれば、即製造を中止してでも原因を究明します。実際、過去には協力メーカー様に工程の改善や原料や機械の変更までお願いしたこともあります。「ここまでやるの?」と言われたこともありますが、後に「ピジョンと付き合ってた良かった」との言葉もいただき、品質管理に対する意識も浸透してきています。

今後は海外生産も増えていきますが、Made in Japanが高品質の代名詞となったように、「Made by Pigeon」が全世界のお客様に安心・安全を保証する代名詞として広く定着するよう、継続して品質管理に取り組んでまいります。

執行役員 品質管理本部長 **岩本 忍**

「ダメなものはダメ」「たぶん大丈夫」もダメ」。時にこのような「ダメ」をお伝えしなければならないのが私の仕事です。商品を使うのが赤ちゃんなので、安全・安心の根底を揺るがしかねない妥協やチャレンジは、一切許しません。だからといって、トラブルにしかめっ面でも対処しても何の解決にもなりませんから、「仕事は明るく!」をモットーに、時には冗談も交えながら(笑)、人とのコミュニケーションを大切にしています。お客様には安心してピジョンの商品をお使いいただければと思います。

私と ピジョン

このコーナーでは、ピジョン商品のご愛用者、お取引先、マスコミ関係者、投資家、或いは地域の皆様方とピジョンとのかかわりについて、皆様からいただいた貴重なご意見をご紹介します。



大日本印刷の
西谷です。



大日本印刷株式会社 包装事業部 包装第2営業本部 西谷 壮一郎 本部長

「マグマグ®」という容器ひとつにしても、その品質管理の厳しさは、食品・薬品と同等以上。ピジョン様の品質に対する妥協なき姿勢からは我々も多くを学ばせていただいています。



当社は、乳幼児向けステップアップ式カップ「マグマグ®」の開発を機にピジョン様とお取引が始まり、容器成型から組立、包装までをお手伝いしています。

今では世に広く認知された「マグマグ®」ですが、煮沸消毒しても色落ち・変形せず、幅広い温度帯に

対応しながらも中身が見え、かつ触ってもはがれず舐めても口につかない可愛いデザインを容器に印刷したいというご要望には、当初難しさを感じたものです。1982年の発売後も、ピジョン様はお客様からのご指摘に対して、徹底的に赤ちゃんの視点で利便性・安全性の面で改良を重ねてられました。生産

工程でもピジョン様ならではの厳しい「品質テスト」があり、たとえ容器であっても食品や薬品と同等以上の品質管理を求められます。

品質要求を満たすため、金型を全部作り直したこともありました。「品質向上のためにはそこまでののか！ 発注先のみならず自らにも厳しい！」と大変驚きました。

言葉を話せない赤ちゃんのために、長年の研究により、多くのママに支持される乳首を作り上げた実績のあるピジョン様には、ものづくりや品質への妥協なき姿勢が企業風土として根付いており、我々もそこから多くを学んでおります。

当期の経営成果

売上高は、中国および北米を中心とした海外事業の順調な業績拡大に加え、円安の影響もあり、774億65百万円(前期比19.0%増)となりました。増収の影響に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働向上などにより、営業利益は103億65百万円(前期比46.3%増)となりました。経常利益は為替水準が想定よりも円安で推移したことに伴う為替差益の計上により営業外収益が増加し110億2百万円(前期比48.9%増)、当期純利益は69億85百万円(前期比52.7%増)と、いずれも前期実績を大きく上回りました。

国内ベビー・ママ事業

売上高は、新商品などの効果が寄与し、244億51百万円(前期比2.4%増)となりました。セグメント利益は、売上原価の増加に加えて消耗商品類へのマーケティング活動、営業施策の積極的実行などで販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、34億11百万円(前期比1.0%増)となりました。

2013年2月にピジョン独自のハグットシートを装備した赤ちゃんの快適を追求したベビーカー「Mahalo(マハロ)」、防ぐ・おとす・うるおす、の3ステップで赤ちゃんのUV対策ができる「UV babyシリーズ」6種類、さらには3月にママの好みに合わせて選べる新しい3つのデザインからなるピジョン哺乳びん「母乳実感」シリーズ、7月には純水99%処方を実現し、新開発シートを採用したお



しりふき「おしりナップ たっぷりアクア」、8月には妊娠準備期・妊娠中に必要とされる「葉酸・鉄・カルシウム」が一度に摂れるサプリメント「かんでおいしい葉酸タブレット カルシウムプラス」などを発売しています。

また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「プレママクラス」、出産後の方を対象とした「ママクラス」などを当期内において48回開催し、合計で約3,600名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援する「クチコミコミュニティサイト」である「ピジョンインフォ」の会員数は、新規加入会員の獲得により、引き続き増加しています。

子育て支援事業

売上高は65億99百万円(前期比3.3%増)、セグメント利益は依然続く保育士不足による採用費用増など販売費及び一般管理費の増加などにより、前期をやや下回る1億76百万円(前期比3.6%減)となりました。なお、事業所内保育施設については、2013年3月と4月に計3箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、堅調に売上を拡大しているほか、ベビーシッター事業に関しても、順調に法人契約数を伸ばしています。



ヘルスケア・介護事業

引き続き消耗商品における競争の激化など厳しい状況が続く、売上高は67億21百万円(前期比0.3%増)、セグメント利益は2億12百万円(前期比0.4%減)となりました。

2013年8月にひざ本来の動きを助け、動きをスムーズにするサポーター「リクープ 負担軽減サポーターひざ関



節 動きスムーズ」、9月にやぶれにくく、手を汚さずしっかり拭ける大人用おしりふき「ハビナース やぶれにくいタイプのおしりふき」、また11月にはシートから立ち上がると自動的にタイヤロックが働く車いす「ハビナース ロックアシスタ®」を発売しています。今後も、重点カテゴリに絞った研究の深耕による商品の上市を目指し、また、施設ルートを中心とした営業活動をはじめとする施策の実行を徹底していきます。

海外事業



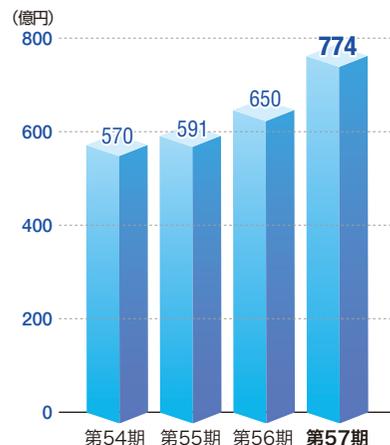
売上高は385億40百万円(前期比42.9%増)となりました。セグメント利益は、事業の積極的展開に伴うマーケティング活動などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、101億72百万円(前期比59.3%増)となりました。中国においては、マーケティング、販促普及活動の強化に加え、2013年7月のベビー用紙おむつの新発売もあり、売上高は前期実績を大きく上回りました。さらに、中国国内の生産拠点2箇所においても順調に生産を拡大しており、効率化にも取り組んでいます。また、インドにおいては、引き続き当社ブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケティング活動を展開しており、今後は、販売・流通体制のさらなる強化を目指すとともに、現地工場建設など商品供給体制の整備を進めていきます。北米においては、引き続き商品カテゴリの拡充、組織体制の強化などによるさらなる事業拡大を目指します。

その他

売上高はOEM商品の受注がやや増加し、11億51百万円(前期比1.0%増)、セグメント利益は2億4百万円(前期比44.2%増)となりました。

主な経営指標

売上高



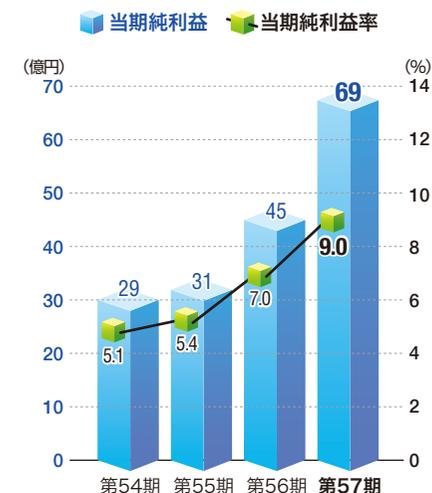
営業利益 / 営業利益率



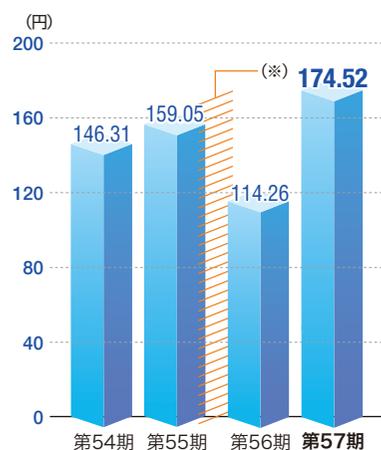
経常利益 / 経常利益率



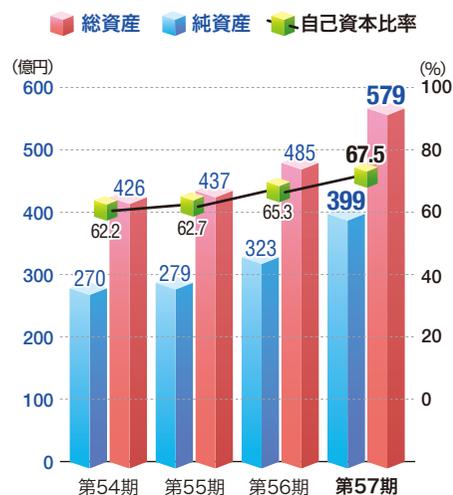
当期純利益 / 当期純利益率



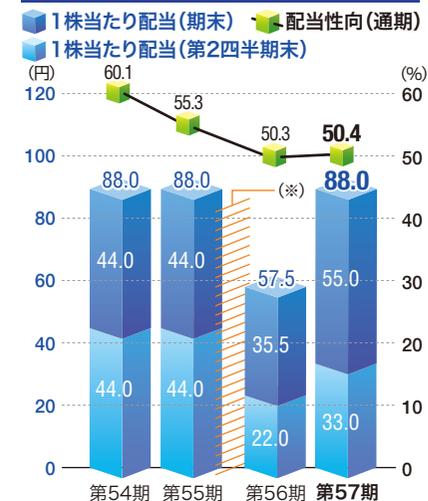
1株当たり当期純利益 (EPS)



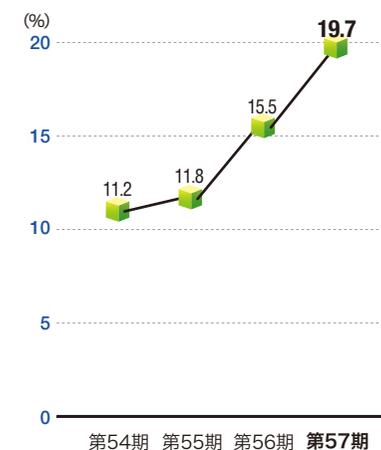
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



1株当たり年間配当金額 / 配当性向



自己資本当期純利益率 (ROE)



※当社は平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

第56期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益 (EPS) 及び1株当たり年間配当金額を算定しています。



「ランシノ」ブランドで哺乳びん・乳首の販売開始

当社では、米国・欧州市場においては「ランシノ」ブランドでベビー用品の販売を展開していますが、米国において2014年1月より、ビジョンの主力商品である哺乳びん・乳首を「ランシノ」ブランドで販売開始しました。米国は、年間出生数が日本の4倍近い約400万人という大きなマーケットで、これまで先行して投入してきた母乳パッドなどの販売も伸び続けています。主力商品である哺乳びん・乳首の販売でブランドをこれまで以上に浸透させ、2016年までには取扱店舗数を2,300店舗にまで広げることを目指します。今後、米国をはじめとする海外の主要市場において、哺乳びん・乳首のシェアを5割にまで高めていきたいと考えます。



株主アンケート 結果のご報告

昨年10月に第57期中間報告書のご送付とともに実施いたしました株主アンケートにつきまして、486名の株主様からご回答ならびに貴重なご意見をお寄せいただきました。

皆様からいただきました感想や改善要望などの貴重なご意見は、これまで同様、経営にフィードバックするとともに、今後の経営方針やIR活動等、当社のさらなる発展につなげていきたいと考えております。

アンケート結果の概要は右記のとおりでございます。



ビジョンウィルの吸収合併

当社は、2014年2月1日付で、100%出資の連結子会社であるビジョンウィル株式会社を吸収合併しました。当社では、妊産婦向けサプリメント、スキンケア用品などを販売していますが、妊産婦向けのインナーウェアなどの販売を行っていたビジョンウィルを当社に吸収合併することで、ビジョングループとして、妊産婦用品全般に関する販売・マーケティング機能が強化できると同時に、グループ経営資源の統合を通じて、より効率的な事業運営が可能となると判断しました。

なお、本合併は、当社100%出資の連結子会社を対象とした簡易吸収合併であるため、当社およびビジョンウィルのいづれにおいても、株主総会での決議を経ずして、当該合併契約を承認するに至っています。

アンケートのコメント(一部抜粋)

- 株式分割による流動性向上は素晴らしい。
- 今後も長く保有したい。
- 世界で信頼される製品をずっとつくり続けてください。
- 毎回報告を楽しみにしております。これからも応援しています。
- 清潔感のある会社ですね。
- タイやインドネシアの友人たちもビジョン製品が大好きだと言っていました。



Corporate

会社概要 (平成26年1月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社968名 連結3,458名(※正社員および契約社員の人数です)
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200(代表)
役員	(平成26年4月25日現在)
取締役最高顧問	仲田 洋一
代表取締役会長兼取締役会議長	大越 昭夫
代表取締役社長	山下 茂
取締役専務執行役員	赤松 栄治
取締役専務執行役員(中国事業本部長)	北澤 憲政
取締役上席執行役員(ロジスティクス本部長)	甘利 和久
取締役上席執行役員	倉知 康典
取締役上席執行役員(開発本部長)	板倉 正
常勤監査役	高島 康
常勤監査役	湯田 博毅
監査役(社外監査役)	西山 茂
監査役(社外監査役)	出澤 秀二
執行役員(経営企画本部長)	松永 勉
執行役員(経理財務本部長)	牧 裕康
執行役員(人事総務本部長)	浦狩 高年
執行役員(品質管理本部長)	岩本 忍
執行役員(国内ベビー・ママ事業本部長)	橋本 伸行
執行役員(国内ベビー・ママ事業副本部長)	笠原 かほる
執行役員(ヘルスケア・介護事業本部長)	石上 光志
執行役員(海外事業本部長)	増成 裕之
執行役員(中国事業本部副本部長)	賀来 健
執行役員(子育て支援事業本部長)	鶴 孝則
執行役員(PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長)	仲田 祐介

Profile

主要事業所

事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区

物流センター 茨城県稲敷郡阿見町
茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

営業拠点 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・
大阪・広島・福岡

次の17社を連結の対象としています。(平成26年2月1日現在)

- ピジョンホームプロダクツ(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON MALAYSIA (TRADING) SDN. BHD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

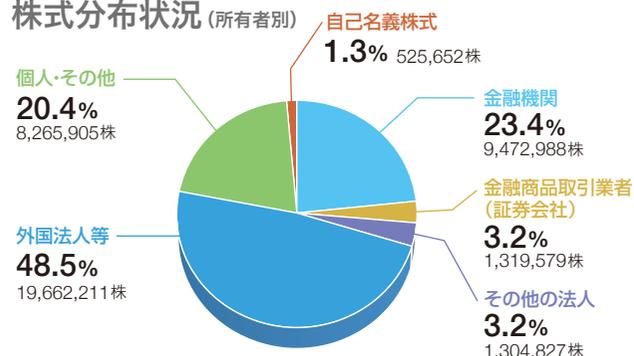
株式の状況 (平成26年1月31日現在)

発行可能株式総数 120,000,000株
発行済株式の総数 40,551,162株
株主数 11,121名
自己株式 525,652株

大株主(上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%) [※]
仲田 洋一	3,149	7.87
ビービーエイチマシユーズアジアティビデンドファンド	3,003	7.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,583	6.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,513	6.28
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,730	4.32
ピーエヌピーバリバセックサービスルクセンブルグジャ スデックアパティエングローバルクライアントアセツツ	913	2.28
818521ノムラバンクルクセンブルクエスエープレツジドアセツツ ロムノムラマルチシーシーワイジヤバノストツクリーダースファンド	860	2.15
ドイツ証券株式会社	837	2.09
エイチエスピーシーバンクピーエルシーアカウント セブンリフィテリティー	665	1.66
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィ テリティアンズ	647	1.62

※持株比率は自己株式(525,652株)を控除して計算しております。

株式分布状況 (所有者別)



株主メモ

証券コード 7956
事業年度 2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会 毎年4月
**期末配当金受領
株主確定日** 1月31日

**中間配当金受領
株主確定日** 7月31日

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同事務連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問合せ先) TEL 0120-232-711
(郵便物送付先) (通話料無料 平日9:00~17:00)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://www.pigeon.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ピジョン トップページ <http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報 トップページ <http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品のご紹介

ベビースキンケアシリーズ

リニューアル

生まれたての赤ちゃんの体を表面から保湿し、赤ちゃんの未発達な肌を乾燥から守る働きをしている「胎脂」。新しいピジョンのベビースキンケアシリーズでは、この胎脂に着目し、その成分組成に近い保湿成分「ピジョンベビーリピッド」を新たに配合。赤ちゃんのお肌を刺激から守り、保護します。



さく乳器 電動タイプ First Class

リニューアル

やさしい刺激で母乳の分泌を促す「さく乳準備モード」を新搭載してリニューアル。「さく乳モード」はお好みに合わせて強さと速さが選べます。どんなおっぱいにもやさしくぴったりフィットする「やわらかフィットカバー」で、より快適で無理のないさく乳が可能になりました。



車いす ハビナース ロックアシスタ[®]

利用者がシートから立ち上がると自動的にタイヤをロックし、ブレーキのかけ忘れによる転倒事故から利用者を守ります。「カム」でタイヤの回転を直接止めてしっかりロックする一方、足踏みレバーで簡単にロックを解除できるほか、折りたたむと自動で解除ができます。



歯がため

Munch teether (マンチ ティーサー)

赤ちゃんの様子を観察し続けることでピジョンが発見した、赤ちゃんが遊び続けるための3要素「興味をひき」「自然な動作でおくちに入り」「夢中にかむことができる」をかなえた新しい歯がためです。赤ちゃんの好みで選べる「べらべらタイプ」「ぼってりタイプ」の2タイプをご用意しています。



両対面式ベビーカー

Mahalo laule'a (マハロ ラウレア)

リニューアル

赤ちゃんを地面のホコリや熱から遠ざける50センチのハイポジションシートなど、赤ちゃんの快適にこだわった両対面式ベビーカー「Mahalo laule'a」が、ギンガムチェックとネイビーフラワーの2デザインで新登場。従来からの赤ちゃん想いの装備に加え、荷物の出し入れなどのママの使い勝手も向上しました。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。



本冊子は、東北地方の復興支援の一環として、東北のデザイン会社に制作を依頼し、発行いたしました。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。



ピジョン株式会社